



問題飲酒の疫学的調査研究

(アルカドテストによる試み)

An Epidemiological Research on Problem

Drinking by Means of Modified Alcadd Test

京都府立医科大学衛生学教室 佐々木武史

東邦大学医学部衛生学教室 額田 粲 石崎 龍雄

中国短期大学 森 忠繁 明石 信爾 松田 昭

滋賀県八幡保健所 鎌田昭二郎

大阪府四條畷保健所 重松 清

京都市中京保健所 岸田 裕爾

京都市下京保健所 田中 久勝

京都市上京保健所 木村 茂

京都市南保健所 大辻 一義

京都市左京保健所 西川 捨己

京都市教育委員会保健体育課 立川 明

陸上自衛隊桂分とん地 杉浦 幸雄

I 問題飲酒の位置づけ

飲酒を社会的飲酒(中庸で時々飲酒する moderate occasional social drinking), 規則的な社会的飲酒(この段階のあるものはトラブル状態に進行する regular social drinking), アルコール依存者(業務, 職業, 結婚生活, 交友関係などで大した問題はないが, アルコール飲料を離れられない, 何かにかこつけて飲酒する, alcohol dependent drinking), アルコール耽溺(addictive drinking), 本当の慢性アルコール中毒の6つの段階に分類する試みが W. B. Terhune⁽¹⁾によってなされている。飲酒という事象を問題のない状態から病的な状態に至るまでの連続的な現象としてみる考え方は, 精神衛生を個人的臨床的重点で取り上げる従来の方法に対して集団的疫学的方法の重視に伴って認識を広めつつある。米国の国立精神衛生研究所でも重視されて来ている。

これらの段階の中で慢性アルコール中毒より前の段階が慢性アルコール中毒予防という見地から注目される。この段階即ち、プレアルコホリックの段階には、依存から耽溺までかなりの巾があるが、これらの状態をまとめて問題飲酒と枠づけたい。勿論慢性アルコール中毒という段階は医学的にみて疾病であるから問題状態であることは明らかであるが、これは問題飲酒とはみなさない。もし問題飲酒を早期に発見でき、その進行をくいとめることができれば、それは慢性アルコール中毒の第1次予防と考えられる。

米国の国立精神衛生研究所によると、問題飲酒とは「自分自身の抑制の限界を越えて過剰にアルコール飲料を飲むことにより、家庭と地域社会にトラブルを生じ、社会的適応を欠き、自分の身体をも損う²⁾」ことを云う。すなわち問題飲酒は不安や緊張をまぎらわすための飲酒に関係が大きいものであって、飲めない人がたまたま飲まされて失敗をただけでは一その失敗の程度にもよるが一通常は問題飲酒とは云わない。

問題飲酒の早期段階にみられる警告のしるしには、米国国立精神衛生研究所によると、1)ある場面に入る前に飲む、2)しばしば飲んでほめをはずす、3)量が増える、4)独りで飲む、5)朝から飲む、6)月曜日は遅刻か欠席か失敗をする、7)飲むと喧嘩する、8)記憶喪失を伴う、9)病気でも飲む、10)職場や家庭で争いを起しても飲む、が徴候としてあげられている。その他、週1回以上中等量以上を飲む、他の人より先に1~2杯飲んでおく、何事によらず物事にかこつけて飲む、飲み初めた頃のことながら長く酒の肴として語られることなども亦、早期の徴候と云われている。

問題飲酒の早期徴候を集団的にスクリーニングする方法については、例えば A. L. Williams の「大学生に関する問題飲酒の尺度の有効性³⁾」に関する論文がある。この報告の中で彼は多くの報告を参照しているが、その中で Park (1958) や Straus and Bacon (1953) などにより行われた問題飲酒因子 (+12因子, -1因子) を記した質問紙によるデータをその他の項目と比較検討している。この場合調査はプレアルコホリックの段階を問題飲酒とみなしそれらの発見を目的として行われている。

他方、アルコール耽溺判定のための集団についてのスクリーニングテストとして行われたものとしてアルカドテスト Alcadd test がある。之は1949年 Birmingham V. A. 病院の M. P. Manson⁴⁾により試みられたもので60の質問から成っている。文部省科学研究費医学部門総合研究班ではこのアルカドテスト (Alcoholic Addiction test) の原文を日本的に再編成した質問紙 (図1) を作製した。そのさいアルカドテストの原文にみられた質問は前に述べたその他の調査にみられた問題飲酒に関する質問の内容と比べると類似点が多く認められた。本報告では日本版アルカドテストを用いた結果を検討し問題飲酒の早期の徴候についての知見をまとめてみた。

II 調査方法

調査期間は昭和48年の春から夏にかけてである。

調査対象は地域住民と職域集団の両者より成る。地域住民については保健所、地域保健協議会、地域婦人会などの御協力をいただいた。対象は地域の年齢構成よりなるべく離れないように努めた。前に説明した修正されたアルカドテストの質問紙は配置法によって配付し地区の組織や連絡の御擔当をいただいたかたがたにより回収していただいたが、地域住民につ

図1 つぎの項目の質問に答えて下さい。あてはまる答えの番号に○をつけて下さい。かならず記入もれのないようにして下さい。

問1 あなたほどの程度お酒をのみますか。

- 答え 1. のまない (のめない) 4. 毎週3日以下必ずのむ
 2. 殆どのもまない (月に数回から年に数回) 5. 毎週4日以上必ずのむ
 3. 以前のんだが現在はのまない (少なくとも半年以前から) 6. 毎日のむ

2	問2	私は酒を飲むよりごちそうを食べるほうがよい……………	答え 1. のむほうがよい	2. たべるほうがよい
5	問3	私が酔っぱらうのは、それなりのわけがある……………	1. はい	2. いいえ
3	問4	酒がのどを通る感じはすばらしい。……………	1. はい	2. いいえ
3	問5	酒を飲むと家に帰らない事がある……………	1. はい	2. いいえ
4	問6	私が飲むのは、つきあいの時だけである……………	1. そうではない	2. つきあいの時だけ
1	問7	いつも決まった時刻に飲む(晩酌するなど)……………	1. はい	2. いいえ
4.5	問8	酒を飲むと人と気楽につきあえる……………	1. はい	2. いいえ
3	問9	私はいつも自分のペースで飲む……………	1. ペースはきま	2. 自分のペース
2	問10	食事をするなら、酒の飯める店です……………	1. はい	2. いいえ
4	問11	元気を出すには飲むのが一番だ……………	1. はい	2. いいえ
5	問12	飲むようになってから、かなり性格が変わった……………	1. はい	2. いいえ
3.5	問13	酒のうでで事故や争いを起した事がある……………	1. はい	2. いいえ
5	問14	飲むとよく眠れない……………	1. 眠れない	2. 眠れる
1.3	問15	毎週必ず1升(日本酒:ウィスキーなら1瓶)はのむ……………	1. はい	2. いいえ
3	問16	以前にくらべると最近酒量が大分上った……………	1. はい	2. いいえ
2	問17	親友に大酒飲みがいる……………	1. はい	2. いいえ
4	問18	飲むのは人生を楽しむためだ……………	1. はい	2. いいえ
2	問19	近くの酒屋でよく一杯やる……………	1. はい	2. いいえ
1.3	問20	金が入れば必ず飲み歩く……………	1. はい	2. いいえ
1.2	問21	飲む機会があれば必ず飲む……………	1. はい	2. いいえ
4.5	問22	うさばらしに飲む……………	1. はい	2. いいえ
5	問23	少し飲むとやすうけあいをしてしまう……………	1. はい	2. いいえ
4	問24	しらふだと落ちつかない……………	1. 落ちつかない	2. しらふでも落ちついている
3	問25	飲んだ時のことを思い出せないことがある……………	1. ある	2. ない
1.3	問26	週に一、二度は大いにメートルをあげる……………	1. あげる	2. あげない
1	問27	時をかまわず飲むことがある……………	1. ある	2. ない
1.3	問28	朝から酒がいる……………	1. いる	2. いない
4	問29	いつも一、二杯飲んでから仕事にかかる……………	1. はい	2. いいえ
3.5	問30	仲間と飲むより一人で飲むほうがよい……………	1. はい	2. いいえ
1.3	問31	休みの前日には酒びたりになる……………	1. はい	2. いいえ
2	問32	酒をのまない連中とはつきあにくい……………	1. はい	2. いいえ
3	問33	人は私を大酒飲みだと思っている……………	1. はい	2. いいえ
2	問34	酒をのむより他に楽しみがある……………	1. 楽しみがない	2. ある
1.3	問35	年に二、三度はバカ騒ぎをして二、三日飲み続ける……………	1. はい	2. いいえ
4	問36	酒を飲めばだれでも酔いつぶれることがある……………	1. はい	2. いいえ
4.5	問37	酒を飲んでバカ騒ぎをすると素晴らしい気分になる……………	1. はい	2. いいえ
1.3	問38	前の日の酒のみ過ぎで翌日仕事を休んだり遅刻したことがある……………	1. はい	2. いいえ
2.3	問39	飲んでではないとき(自動車の運転、当直など)酒をすすめら……………	1. できない	2. できる
		れてもことわる事ができる		

この調査の1部は所定の封筒をつけておき、郵送によって回収した。職域集団の場合は公務員については事務系現業系より成る部局を選び、自衛隊は衛生室に委託し、教員については保健関係研修会に参加されたかたについて、夫々自由意志による協力を御願した。因島

工場では胃集検の受検者について行った。

地域住民の調査は京都市左京区（周辺部住宅地）、京都市旧市内3区（上京区、中京区、下京区）一両者を合せて京都市住民としてまとめ、大阪府の四條畷市（大阪市の衛星都市として急激に発展した）、滋賀県安土町（農村地域）について行なった。なお四條畷市と安土町の場合及び職域集団の自衛隊以外では女子を含めている。

回収率は京都市左京区43%，旧市内3区計44%，四條畷市79%，安土町90%で大都市は低率となった。職域では公務員96%，教員47%，自衛隊96%，因島工場99%であった。

回収されたもののうち、記入の不備の著しいものを除き集計の対象となった標本数は表1（年台別）、表2（職業別群）の如くである。

年台別にみると、京都市住民では30歳台と20歳台が多いが高年台層も万遍なく多い。四條畷市住民では男子で30～40歳台、女子では30歳台20歳台が多い。安土町住民では男子で50歳以上が少いが、女子は60歳以上が少く、他は殆ど同じである。なお比較に便利のように地域住民集団については2地域（男女間）、3地域（男子）夫々の合計についても示してある。他

表1 調査対象（年台別）

		10歳台	20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	60歳～	計
男	京都市住民	n 0	54	65	42	45	40	246
		% 0	21.9	26.4	17.1	18.3	16.3	100.0
	四條畷住民	n 0	24	120	92	33	9	278
		% 0	8.6	43.2	33.1	11.9	3.2	100.0
	安土住民	n 0	37	39	37	20	11	144
		% 0	25.7	27.1	25.7	13.9	7.6	100.0
	四條畷安土計	n 0	61	159	129	53	20	422
		% 0	14.4	37.7	30.6	12.6	4.7	100.0
	京都四條畷安土計	n 0	115	224	171	98	60	668
		% 0	17.2	33.5	10.6	14.7	9.0	100.0
子	京都教員	n 0	3	8	42	6	1	60
		% 0	5.0	13.3	70.0	10.0	1.7	100.0
	京都公務員	n 3	64	99	112	17	1	296
		% 1.0	21.6	33.4	37.8	5.7	0	100.0
	教員公務員計	n 3	67	107	154	23	2	356
		% 0.8	18.8	30.0	43.3	6.5	0.6	100.0
	京都自衛隊	n 12	116	65	91	0	0	284
	% 4.2	40.8	22.9	32.0	0	0	100.0	
女	日立因島工場	n 1	7	16	24	23	0	71
		% 1.4	9.9	22.5	33.8	32.4	0	100.0
	四條畷住民	n 0	20	37	17	8	0	82
		% 0	24.4	45.1	20.7	9.8	0	100.0
	安土住民	n 0	24	24	19	23	6	96
		% 0	25.0	25.0	19.8	23.9	6.3	100.0
	四條畷安土計	n 0	44	61	36	31	6	178
		% 0	24.7	34.3	20.2	17.4	3.4	100.0
	京都教員	n 0	8	4	24	33	0	69
		% 0	11.6	5.8	34.8	47.8	0	100.0
子	京都公務員	n 1	5	5	10	2	0	23
		% 4.3	21.7	21.7	43.5	8.7	0	100.0
	教員公務員計	n 1	13	9	34	35	0	92
	% 1.1	14.1	9.8	37.0	38.0	0	100.0	

表2 調査対象(職業群別)

		ホワイトカ ラ	農 業	生産運輸	販 売 サービス	パ ー ト 主婦,無し	計
男	京都市住民 ⁿ %	114 46.3	1 0.4	64 26.0	57 23.2	10 4.1	246 100.0
	四條畷住民 ⁿ %	168 60.7	26 9.4	63 22.7	12 4.3	8 2.9	277 100.0
	安土住民 ⁿ %	46 31.9	42 29.2	35 24.3	11 7.6	10 6.9	144 100.1
	四條畷安土計 ⁿ %	214 50.8	68 16.1	98 23.3	23 5.5	18 4.3	421 100.0
	京都四條畷安土計 ⁿ %	328 49.2	69 10.3	162 24.3	80 12.0	28 4.2	667 100.0
	京都教員 ⁿ %	60 100.0	0 0	0 0	0 0	0 0	60 100.0
	京都公務員 ⁿ %	296 100.0	0 0	0 0	0 0	0 0	296 100.0
	教員公務員計 ⁿ %	356 100.0	0 0	0 0	0 0	0 0	356 100.0
	京都自衛隊 ⁿ %	284 100.0	0 0	0 0	0 0	0 0	284 100.0
	日立因島工場 ⁿ %	8 11.3	0 0	63 88.7	0 0	0 0	71 100.0
女	四條畷住民 ⁿ %	7 8.5	1 1.2	3 3.7	2 2.4	69 84.2	82 100.0
	安土住民 ⁿ %	15 15.6	22 22.9	1 1.0	7 7.3	51 53.1	96 100.0
	四條畷安土計 ⁿ %	22 12.4	23 12.9	4 2.2	9 5.1	120 67.4	178 100.0
	京都教員 ⁿ %	69 100.0	0 0	0 0	0 0	0 0	69 100.0
	京都公務員 ⁿ %	22 95.7	0 0	0 0	0 0	1 4.4	23 100.0
	教員公務員計 ⁿ %	91 98.9	0 0	0 0	0 0	1 1.1	92 100.0

方職域集団についてみると、教員では男子40歳台、女子40～50歳台が特に多い。公務員では男子30～40歳台が特に多く20歳台が次いで多い。女子は例数が少ないが40歳台が多い。なお比較に便利のため教員と公務員ともあわせて示したが、男子では40歳台と30歳台が多いのに対して女子では40歳台と50歳台が多かった。自衛隊では20歳台が特に多く、50歳以上は0であった。因島工場胃集検受検者では40歳台50歳台が多く20歳台は少なかった。

職業群別にみると京都市住民では(男子)ホワイトカラー群(専門、技術、事務各系を含む)は約半数近くあるが、生産運輸群(技術系、現業系が多い)26%、更に販売サービス群(営業、販売、保安、家事系より成る)は23%もあり京都に之が最も多い。なお職業分類において中小企業主(従業員100人未満)で主に生産を行う企業は生産運輸群、主に販売サービスを行う企業は販売サービス群に含めた。

四條畷市住民は男子ではホワイトカラー群が過半数を占め生産運輸群も20%をこえている。安土町住民は男子では他の地域と比べて農業群が多くホワイトカラー群が少ない。このように男子の場合、夫々の地域の特徴が示されている。一方女子では四條畷市、安土町共に主婦群

が多いのは当然のことであるが、安土町では農業が多く、同時に所謂兼業としてのおつとめが多くなっている。なお比較に便利なため、年台群の場合（表1）と同様に、各地域住民群を合計したもの及び教員公務員群を合計したものについても示してある。

なお表に出してないが婚姻状況では30歳以上になると既婚者が非常に増えてくるのが、全体を通しての傾向であった。但し例外的に、自衛隊及び公務員の女子では未婚者の割合が多い。

此所に報告したデータは総合研究班により行われた全国調査の中の1部であって、すべてのデータは東大大型計算機センターで処理されたものである。

Ⅲ 調査結果

a) 飲酒回数による分類

表3は地域別、職域別、男女別に飲酒回数との関係を示したものである。飲酒回数の欄に

表3 調査対象（飲酒回数別）

		のまなの めない (1)	殆んど のまない (2)	中 止 (3)	週 3 日 以 下 (4)	週 4 日 以 上 (5)	毎 日 の ち む (6)	計
男	京都市住民	n 6	43	7	23	23	144	246
		% 2.4	17.5	2.8	9.3	9.3	58.5	100.0
	四條畷住民	n 25	64	3	40	32	116	280
		% 8.9	22.9	1.1	14.3	11.4	41.4	100.0
	安土住民	n 6	62	3	16	13	43	143
		% 4.2	43.3	2.1	11.2	9.1	30.1	100.0
	四條畷 安土 計	n 31	126	6	56	45	159	423
		% 7.3	29.8	1.4	13.2	10.6	37.6	100.0
	京都四條畷安土計	n 37	169	13	79	68	303	669
		% 5.5	25.3	1.9	11.8	10.2	45.3	100.0
子	京都教員	n 2	19	0	4	8	27	60
		% 3.3	31.7	0	6.7	13.3	45.0	100.0
	京都公務員	n 28	92	6	46	34	93	299
		% 9.4	30.8	2.0	15.4	11.4	31.1	100.0
	教員公務員 計	n 30	111	6	50	42	120	359
		% 8.4	30.9	1.7	13.9	11.7	33.4	100.0
	京都自衛隊	n 17	107	10	52	39	58	283
		% 6.0	37.8	3.5	18.4	13.8	20.5	100.0
	日立因島工場	n 14	19	10	10	11	16	80
		% 17.5	23.8	12.5	12.5	13.8	20.0	100.0
女	四條畷住民	n 31	45	0	1	1	5	83
		% 37.3	54.2	0	1.2	1.2	6.0	100.0
	安土住民	n 33	57	2	1	0	3	96
		% 34.4	59.4	2.1	1.0	0	3.1	100.0
	四條畷 安土 計	n 64	102	2	2	1	8	179
		% 35.8	57.0	1.1	1.1	0.5	4.5	100.0
	京都教員	n 17	38	4	5	1	4	69
		% 24.6	55.1	5.8	7.2	1.4	5.8	100.0
	京都公務員	n 6	15	0	2	1	0	24
		% 25.0	62.5	0	8.3	4.2	0	100.0
教員公務員 計	n 23	53	4	7	2	4	93	
	% 24.7	57.0	4.3	7.5	2.2	4.3	100.0	

注) 飲酒回数の (No) の数字は表9, 10と共通している。

()で示した1～6までの数字は夫々図1の質問紙の問1に対する回答の番号と一致している。

3地域住民を合せたもの(男子)についてみると、毎日飲むものは45%で約半数を占めている。次に多いのは殆ど飲まないもので25%を示し週の中1日以上必ず飲むものは22%である。3地域間では毎日飲むものは京都市住民が59%と多く、安土住民が30%で3地域の中では少ない。之に対して殆ど飲まないものは安土町住民に最も多い。3地域住民男子を合せたものと、教員公務員を合せたものとの間には差はないが、住民の方に毎日飲むものがやゝ多い傾向があるようである。然し教員と公務員(男子)とを比べると教員の方に毎日飲むものがやゝ多い傾向がある。自衛隊では公務員に比べて毎日飲むものが少ない傾向がある。因島工場は胃集検受検者であるためか毎日飲むものは20%と少ない。又中止者が多いのも特徴であろう。

男子と女子との比較は表をみれば明らかで、女子では殆ど飲めないが過半数を占め、飲まない、飲めないものも次いで多く、両方を合わせると85%程度である。之に対して毎日飲むものは4～6%にすぎない訳で男女差ははっきりしている。

飲酒回数と年台別、職業別などの関係については本文の目的でないし、標本数の少ない場合もあるので此所では省略する。

b) アルカドテストの結果

イ) 質問別「問題所見率」

図1に示した質問紙には質問2～39が記載されている。各質問に対して答1に○を付けた場合、問題飲酒であると判定した。答1に○を付けた数を対象者数で割った%を「問題所見率」となづけた。各質問に対する問題所見率及び平均(計)%を表4～7に示した。表4は各地域、各職域の対象者の総計について、地域別、職域別、男女別に分けて示したものであり、表5～7は更にこれを飲酒回数(1～6まで6段階)別に分けて示したものである。

表4によると問題所見率の平均(計)%は男子ではおよそ20%前後であり、最も高率なのが京都市住民26%であり、最も低率なのは日立因島工場胃集検受診者である。之に対して女子ではおよそ5%前後であり、最も高率なのが四條畷市住民8%、最も低率なのは安土町住民4%であるが、男子と比べて著しく低率であることは説明を要するまでもない。

表5では、毎日飯酒するものの場合、問題所見率の平均%は男子ではおよそ30%前後である。又週4日以上飲酒するものの場合、問題所見率の平均%は男子ではおよそ25%前後であって毎日飲酒するものに比べてやゝ率が低くなっている。但し女子の場合は例数が少ないので傾向は不明である。

表6では、週3日以下必ず飲酒するものの場合、問題所見率の平均%は男子では18～28%の巾をもち週4日以上飲酒するものと比べて殆ど差はないようである。女子の場合は例数が少ないので傾向は不明である。

殆ど飲まないものの場合、問題所見率の平均%は男子ではおよそ10%前後で、週に数回きまって飲酒するものに比べて明らかに低率である。女子では殆ど飲まないものの例数は増えてくるので男子に比べると約半分と低率であることが判る。

表7では、飲酒を少なくとも半年以上前から止めているものの場合、例数が少ないので傾向がよく判らない。

飲めない、飲まないものの場合、問題所見率の平均%は男子ではかなり例数が減ってくる

表4 質問別問題所見率 % (対象者合計)

群 問	男 子										女 子					
	京都市住民	四條畷住民	安土住民	四條畷土計	京都四條畷土計	京都教員	京都公務員	教公務員計	京都自衛隊	日立因島場	四條畷住民	安土住民	四條畷町計	京都教員	京都公務員	教公務員計
2	41.4	35.7	24.3	31.6	35.2	33.3	31.4	32.3	36.6	31.0	6.0	1.0	3.4	2.9	4.3	3.3
3	19.9	13.2	15.9	14.2	16.3	18.3	17.2	17.7	20.4	19.7	14.5	5.2	9.5	5.8	0	4.3
4	64.6	51.8	41.7	48.6	54.5	56.6	53.4	54.2	52.1	35.2	16.9	11.5	14.0	20.3	34.8	23.9
5	1.2	3.2	5.6	4.0	3.0	0	5.4	4.5	5.3	4.2	4.8	0	2.2	0	0	0
6	74.4	50.0	47.2	49.1	58.4	68.3	61.8	63.2	61.6	50.7	15.7	15.6	15.6	20.3	17.4	19.6
7	61.8	47.5	39.6	44.6	50.9	50.0	39.9	42.1	31.3	35.2	9.6	4.2	6.7	7.2	0	5.4
8	76.0	65.0	63.2	64.4	68.7	73.3	64.5	67.1	60.2	50.7	30.1	14.6	21.8	31.9	30.4	31.5
9	15.0	19.3	30.6	23.6	23.4	18.3	21.6	21.9	21.1	18.3	20.5	35.4	28.5	17.4	21.7	18.5
10	49.2	33.2	21.5	29.0	36.4	35.0	35.1	35.7	25.4	26.8	8.4	1.0	4.5	5.8	13.0	7.6
11	47.6	36.4	36.1	36.1	40.3	36.6	31.1	32.9	29.2	26.8	14.5	6.3	10.1	2.9	17.4	6.5
12	6.5	4.7	9.7	6.4	6.4	6.7	5.7	5.6	6.3	11.3	4.8	2.1	3.4	0	8.7	2.2
13	11.0	4.3	3.5	4.0	6.6	8.3	6.8	7.3	13.0	5.6	3.6	0	1.7	1.4	0	1.1
14	4.5	5.0	2.8	4.5	4.5	8.3	7.4	7.6	7.4	5.6	13.3	7.3	10.1	5.8	4.3	5.4
15	26.8	20.4	19.4	20.0	22.5	18.3	16.9	17.1	11.3	14.1	6.0	1.0	3.4	0	0	0
16	16.3	21.8	18.1	20.8	16.9	25.0	16.2	18.0	15.1	7.0	12.0	4.2	7.8	7.2	13.0	8.7
17	41.1	36.1	32.6	35.1	37.3	45.0	44.6	45.8	41.5	28.2	15.7	4.2	9.5	5.8	17.4	8.7
18	61.8	44.6	39.6	42.9	49.9	51.6	51.4	51.7	45.1	40.8	24.1	11.5	17.3	27.5	21.7	26.1
19	7.3	6.4	6.3	6.4	6.7	8.3	6.1	6.5	9.9	9.8	3.6	0	1.7	0	0	0
20	4.5	4.6	2.8	4.0	4.1	1.7	4.1	3.9	8.1	1.4	1.2	0	0.6	0	0	0
21	65.4	41.4	38.2	40.3	49.6	31.7	45.9	41.3	38.4	21.1	12.0	6.3	8.9	10.1	0	7.6
22	12.6	9.6	9.7	9.9	10.9	8.3	12.5	12.1	17.6	14.1	6.0	2.1	3.9	2.9	4.3	3.3
23	19.5	6.4	6.9	6.8	11.5	10.0	10.1	10.4	9.2	12.7	4.8	0	2.2	1.4	0	1.1
24	3.7	2.5	5.6	3.5	3.6	1.7	4.1	3.9	4.9	5.6	3.6	3.1	3.4	1.4	0	1.1
25	26.8	18.2	16.7	17.7	21.0	30.0	26.7	27.8	22.5	19.7	8.4	2.1	5.0	2.9	0	2.2
26	7.7	9.3	4.9	7.8	7.8	3.3	7.8	7.0	7.7	2.8	6.0	0	2.8	0	4.3	1.1
27	19.5	9.6	8.3	9.0	12.8	8.3	13.2	12.6	13.0	11.3	3.6	2.1	2.8	0	4.3	1.1
28	2.0	3.9	2.1	3.3	2.8	1.7	1.0	1.1	1.8	1.4	1.2	0	0.6	0	0	0
29	2.0	2.9	3.5	3.1	2.7	3.3	0.3	0.8	1.1	2.8	3.6	0	1.7	0	0	0
30	26.0	12.5	13.2	13.2	17.9	16.7	14.9	15.2	15.8	19.7	2.4	3.1	2.8	5.8	0	4.3
31	2.0	3.6	2.1	3.1	2.7	0	1.4	1.1	2.8	2.8	1.2	0	0.6	0	0	0
32	19.5	17.5	12.5	15.8	17.2	16.7	14.2	15.2	19.7	15.5	3.6	0	1.7	0	13.0	3.3
33	26.4	14.3	13.2	14.2	18.7	21.7	18.2	19.1	15.8	21.1	3.6	1.0	2.2	0	0	0
34	8.5	8.6	11.1	9.2	9.0	3.3	4.4	4.2	8.5	4.2	2.4	1.0	1.7	0	0	0
35	9.3	6.4	4.2	5.7	5.5	3.3	6.1	5.6	11.3	4.2	0	1.0	0.6	0	4.3	1.1
36	27.2	24.2	25.7	24.8	25.7	23.3	31.1	30.6	23.9	18.3	15.7	7.3	11.2	4.3	0	3.3
37	30.1	18.6	27.1	21.5	24.6	18.3	25.7	24.7	23.6	23.9	7.2	4.2	5.6	1.4	8.7	3.3
38	21.5	15.7	14.6	15.3	17.6	13.3	23.3	22.2	13.4	21.1	1.2	1.0	1.1	0	4.3	1.1
39	16.3	8.2	12.5	9.7	12.1	5.0	6.1	6.2	6.0	2.8	0	2.1	1.1	2.9	0	2.2
平均	25.7	19.5	18.8	19.0	21.5	20.6	21.9	21.7	19.9	17.0	8.2	4.3	6.1	5.1	6.8	5.5
n	246	280	144	424	670	60	296	356	284	80	83	96	179	69	23	92

表5 質問別問題所見率%

問	毎日飲酒するもの							週4日以上飲酒するもの							
	男 子				女 子			男 子				女 子			
	京 都 四 條 土 計	關 東 土 計	四 安 條 土 計	教 公 務 員 計	京 都 自 衛 隊	日 立 因 島 場	四 安 條 土 計	教 公 務 員 計	京 都 四 條 土 計	關 東 土 計	四 安 條 土 計	教 公 務 員 計	京 都 自 衛 隊	日 立 因 島 場	四 安 條 土 計
2	58.1	59.1	66.7	67.2	68.8	37.5	0	35.3	33.3	35.7	61.5	45.4	50.0	0	
3	17.5	17.0	19.2	20.7	37.5	12.5	25.0	14.7	8.9	21.4	20.5	9.1	0	0	
4	74.9	73.6	84.2	82.8	68.8	87.5	50.0	57.4	51.1	69.0	76.9	63.6	0	0	
5	3.3	4.4	4.2	5.2	6.2	25.0	0	2.9	4.4	2.4	7.7	0	0	50.0	
6	85.8	79.2	95.0	96.6	87.5	62.5	75.0	69.1	68.9	88.1	94.9	81.8	50.0	50.0	
7	86.4	84.9	83.3	89.7	75.0	75.0	75.0	66.2	64.4	61.9	41.0	81.8	100.0	50.0	
8	81.5	81.1	85.0	75.9	68.8	87.5	50.0	75.0	66.7	71.4	61.5	72.7	100.0	50.0	
9	20.5	20.1	24.2	13.8	25.0	25.0	25.0	30.9	28.9	16.7	28.2	18.2	100.0	100.0	
10	61.4	51.6	68.3	48.3	68.8	37.5	50.0	33.8	28.9	59.5	25.6	36.3	0	0	
11	62.0	60.4	60.8	51.7	68.8	62.5	0	45.6	37.8	42.9	43.6	54.5	50.0	50.0	
12	9.9	12.6	7.5	10.3	12.5	25.0	0	4.4	2.2	7.1	10.3	9.1	0	50.0	
13	9.2	6.3	10.8	13.8	6.2	0	0	4.4	4.4	9.5	30.8	18.2	0	50.0	
14	2.3	3.1	1.7	3.4	6.2	25.0	0	1.5	0	0	5.1	0	0	0	
15	29.4	19.5	39.2	34.5	50.0	37.5	0	17.6	11.1	19.0	17.9	9.1	50.0	0	
16	19.1	28.9	23.3	17.2	12.5	62.5	0	17.6	22.2	14.3	30.8	0	0	0	
17	41.9	42.1	52.5	36.2	37.5	50.0	0	30.9	28.9	38.1	51.3	18.2	0	50.0	
18	64.4	58.5	65.8	65.5	68.8	50.0	50.0	55.9	48.9	83.3	53.8	63.6	50.0	50.0	
19	9.9	11.3	13.3	15.5	25.0	12.5	0	8.8	6.7	11.9	17.9	9.1	0	50.0	
20	5.3	6.3	6.7	5.2	6.2	0	0	4.4	4.4	4.8	15.4	0	0	0	
21	68.3	57.9	62.5	53.4	50.0	50.0	50.0	52.9	46.7	64.2	53.8	27.3	0	0	
22	14.2	13.2	16.7	17.2	18.7	25.0	0	11.8	11.1	7.1	12.8	18.2	0	0	
23	17.5	12.6	14.2	12.1	31.2	25.0	0	7.4	0	14.3	12.8	9.1	0	50.0	
24	5.0	5.0	4.2	6.9	6.2	25.0	25.0	1.5	2.2	4.8	7.7	9.1	0	0	
25	32.7	29.6	45.8	32.8	37.5	50.0	0	23.5	20.0	30.9	30.8	45.5	0	0	
26	12.5	13.8	17.5	10.3	6.2	37.5	0	11.8	13.3	2.4	20.5	9.1	0	0	
27	18.5	14.5	23.3	17.2	31.2	25.0	0	16.2	13.3	9.5	33.3	18.2	0	50.0	
28	4.6	6.9	3.3	3.4	6.2	0	0	5.9	4.4	0	7.7	0	0	0	
29	3.6	5.7	2.5	0	6.2	0	0	4.4	0	0	5.1	9.1	0	0	
30	24.8	19.5	27.5	15.5	25.0	12.5	0	22.1	17.8	11.9	15.4	18.2	0	0	
31	4.3	5.0	3.3	3.4	6.2	12.5	0	1.5	2.2	0	5.1	0	0	0	
32	25.1	24.5	25.8	29.3	43.7	12.5	0	16.2	17.8	19.0	25.6	9.1	0	0	
33	28.7	26.4	35.0	32.8	43.7	12.5	0	17.6	15.6	19.0	30.8	27.3	50.0	0	
34	14.9	17.6	9.2	17.2	0	12.5	0	10.3	11.1	2.4	5.1	18.2	0	0	
35	9.6	8.8	10.8	5.2	6.2	12.5	0	4.4	4.4	7.1	28.2	0	0	0	
36	32.3	32.1	43.3	24.1	25.0	37.5	0	26.5	22.2	23.8	20.5	36.4	0	0	
37	30.0	26.4	30.0	25.9	50.0	37.5	0	22.1	20.0	26.2	28.2	36.4	0	0	
38	22.8	21.4	30.8	15.5	43.7	12.5	0	22.1	20.0	28.6	12.8	27.3	0	0	
39	15.5	16.4	12.5	1.7	0	0	0	11.8	2.2	4.8	15.4	0	0	0	
平均	29.7	28.4	32.4	29.4	32.6	30.9	12.5	22.8	20.2	24.6	28.1	23.4	15.8	18.4	
n	303	159	120	58	16	8	4	68	45	42	39	11	2	2	

表6 質問別問題所見率%

問	週に3日以下飲酒するもの							殆ど飲まないもの						
	男 子					女 子		男 子					女 子	
	京 都 四 條 土 計	四 安 條 職 士 計	教 公 務 員 計	京 都 自 衛 隊	日 立 因 島 場	四 安 條 職 士 計	教 公 務 員 計	京 都 四 條 土 計	四 安 條 職 士 計	教 公 務 員 計	京 都 自 衛 隊	日 島 工 場 立	四 安 條 職 士 計	教 公 務 員 計
2	29.1	32.1	22.0	61.5	40.0	0	0	5.3	4.0	6.3	6.5	5.3	2.0	1.9
3	15.2	14.3	20.0	23.1	40.0	0	0	15.4	13.5	14.4	22.4	10.5	8.8	3.8
4	58.2	60.7	66.0	75.0	50.0	50.0	71.4	24.3	21.4	25.2	26.2	15.8	16.7	22.6
5	3.8	5.4	4.0	7.7	20.0	0	0	3.0	4.0	7.2	3.7	0	1.0	0
6	55.7	53.6	78.0	86.5	100.0	0	71.4	18.3	14.3	28.8	30.8	15.8	13.7	15.1
7	24.1	26.8	34.0	25.0	40.0	0	14.3	5.9	7.1	4.5	6.5	10.5	3.9	0
8	64.6	66.1	80.0	71.2	80.0	0	71.4	54.4	52.4	55.0	51.4	42.1	24.5	32.1
9	26.6	26.8	22.0	19.3	40.0	0	14.3	25.4	26.2	24.3	26.2	5.3	32.4	18.9
10	24.1	30.4	28.0	38.5	30.0	0	28.6	5.3	5.6	4.5	11.2	21.1	3.9	3.8
11	25.3	32.1	34.0	46.2	20.0	0	28.6	11.8	12.7	4.5	11.2	10.5	10.8	3.8
12	1.3	1.8	8.0	5.8	20.0	0	0	3.6	2.4	2.7	3.7	15.8	2.9	1.9
13	6.3	3.6	8.0	17.3	10.0	0	14.3	2.4	2.4	4.5	7.5	5.3	2.9	0
14	2.5	0	4.0	5.8	0	0	0	8.3	6.3	14.4	11.2	5.3	9.8	5.7
15	3.8	5.4	6.0	9.6	10.0	0	0	0	0	0.9	0	0	2.0	0
16	13.9	10.7	26.0	19.2	10.0	0	57.1	10.7	11.9	13.5	10.3	10.5	7.8	5.7
17	39.2	35.7	50.0	55.8	40.0	0	14.3	31.4	31.0	44.1	37.4	42.1	9.8	7.5
18	51.9	50.0	66.0	73.1	70.0	0	57.1	31.4	28.6	31.5	25.2	21.1	18.6	26.4
19	7.6	7.1	4.0	13.5	20.0	0	0	1.9	1.6	0	4.7	5.3	2.0	0
20	6.3	7.1	2.0	19.2	0	0	0	1.9	0.8	2.7	2.8	0	1.0	0
21	45.6	41.1	62.0	61.5	40.0	0	14.3	26.6	26.2	21.6	21.5	15.8	11.8	7.5
22	5.1	7.1	16.0	25.0	30.0	0	0	7.1	7.9	9.0	17.8	15.8	2.9	1.9
23	6.3	3.6	12.0	15.4	10.0	0	0	5.3	4.8	7.2	5.6	10.5	2.0	0
24	5.1	5.4	6.0	5.8	10.0	0	0	1.8	2.4	3.6	2.8	5.3	2.9	0
25	12.7	10.7	30.0	32.7	30.0	0	14.3	7.7	9.5	13.5	12.1	5.3	2.9	1.9
26	6.3	8.9	4.0	13.5	10.0	0	0	0	0	0	0.9	0	2.0	0
27	8.9	7.1	14.0	15.4	10.0	0	14.3	5.3	4.0	5.4	5.6	0	2.9	0
28	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0	0	1.0	0
29	1.3	1.8	0	0	0	0	0	0	1.6	0	0.9	0	2.9	0
30	11.4	8.9	10.0	25.0	10.0	0	0	8.3	6.3	8.1	15.0	31.6	2.0	3.8
31	2.5	3.6	0	7.7	10.0	0	0	1.9	1.6	0	0	0	0	0
32	12.7	14.3	20.0	25.0	30.0	0	14.3	7.1	7.1	4.5	11.2	5.3	1.0	3.8
33	15.2	14.3	18.0	17.3	30.0	0	0	4.7	2.4	7.2	2.8	10.5	1.0	0
34	2.5	3.6	2.0	9.6	0	0	0	1.8	1.6	0	5.6	5.3	1.0	0
35	10.1	10.7	4.0	21.1	30.0	0	14.3	2.4	1.6	1.8	5.6	0	0	0
36	24.1	33.9	36.0	38.5	40.0	0	0	14.2	16.7	24.3	19.6	15.8	10.8	3.8
37	25.3	23.2	26.0	32.7	30.0	0	28.6	18.9	18.3	25.2	18.7	10.5	5.9	1.9
38	15.2	16.1	28.0	25.0	50.0	0	14.3	10.7	9.5	12.6	10.3	15.8	2.0	1.9
39	11.4	8.9	2.0	3.8	0	0	14.3	8.3	7.1	3.6	7.5	5.3	0	1.9
平均	17.9	18.2	22.4	27.6	26.6	1.3	15.0	10.3	9.9	11.5	12.2	10.4	6.0	4.7
n	79	56	50	52	10	2	7	169	126	111	107	19	102	53

表7 質問別問題所見率%

問	飲酒を止めているもの							のめない、のまないもの						
	男 子				女 子			男 子				女 子		
	京 都 四 條 土 計	職 安 條 職 士 計	教 務 員 計	京 都 自 衛 隊	日 立 因 島 場	四 安 條 職 士 計	教 務 員 計	京 都 四 條 土 計	職 安 條 職 士 計	教 務 員 計	京 都 自 衛 隊	日 立 因 島 場	四 安 條 職 士 計	教 務 員 計
2	23.1	16.7	16.7	20.0	0	0	0	2.7	3.2	3.3	0	7.1	0	8.7
3	38.5	16.7	0	20.0	0	0	0	8.1	9.7	16.7	0	7.1	10.9	4.3
4	69.2	66.7	33.3	30.0	20.0	0	50.0	8.1	3.2	0	0	0	0	0
5	0	0	0	10.0	10.0	0	0	0	0	0	0	0	1.6	0
6	53.8	33.3	33.3	30.0	20.0	0	25.0	5.4	3.2	3.3	0	14.3	14.1	0
7	23.1	0	33.3	10.0	10.0	0	0	5.4	3.2	0	0	0	1.6	0
8	69.2	66.7	50.0	50.0	40.0	66.7	25.0	27.0	22.6	10.0	29.4	7.1	6.3	8.7
9	23.1	16.7	0	10.0	20.0	0	50.0	18.9	19.4	13.3	17.6	7.1	23.4	8.7
10	38.5	33.3	16.7	20.0	10.0	0	25.0	5.4	6.5	0	0	0	1.6	0
11	38.5	16.7	50.0	0	10.0	0	0	16.2	16.1	3.3	0	0	3.1	0
12	15.4	16.7	16.7	10.0	0	0	0	2.7	3.2	0	0	0	1.6	0
13	15.4	0	0	0	0	0	0	5.4	0	0	0	0	0	0
14	0	0	0	10.0	0	0	0	16.2	19.4	23.3	5.9	14.3	9.4	0
15	0	0	16.7	0	0	0	0	2.7	0	3.3	0	0	0	8.7
16	15.4	0	0	0	0	0	0	5.4	3.2	6.7	0	0	1.6	0
17	53.8	50.0	33.3	10.0	30.0	66.7	25.0	29.7	22.6	0	5.9	0	3.1	0
18	38.5	16.7	33.3	40.0	40.0	33.3	25.0	5.4	6.5	0	0	0	7.8	4.3
19	0	0	0	0	10.0	0	0	2.7	0	0	0	0	0	8.7
20	15.4	0	0	10.0	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	46.2	16.7	0	20.0	10.0	33.3	0	5.4	3.2	0	0	0	0	0
22	30.8	16.7	0	30.0	0	33.3	25.0	5.4	3.2	6.7	0	0	3.1	0
23	15.4	0	0	0	0	0	25.0	8.1	3.2	0	0	0	0	0
24	7.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.9	0	1.6	0
25	23.1	0	0	30.0	10.0	0	0	5.4	3.2	3.3	0	0	1.6	0
26	0	0	16.7	0	0	0	0	2.7	0	0	0	0	0	0
27	15.4	0	0	0	0	0	0	2.7	0	0	0	0	0	0
28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	0	0	0	0	0	0	0	2.7	3.2	0	0	0	0	0
30	30.8	33.3	0	10.0	10.0	0	25.0	8.1	6.5	6.7	0	7.1	1.6	0
31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.3
32	38.5	50.0	0	20.0	10.0	66.7	0	2.7	0	0	11.8	0	1.6	0
33	30.8	0	0	10.0	20.0	0	0	5.4	0	3.3	5.9	7.1	1.6	0
34	7.7	16.7	0	10.0	10.0	33.3	0	5.4	3.2	6.7	0	0	1.6	0
35	23.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.9	0	0	0
36	30.8	33.3	0	20.0	0	0	25.0	10.8	6.5	6.7	17.6	0	9.4	0
37	46.2	50.0	0	20.0	20.0	66.7	0	0	3.2	0	11.8	0	0	0
38	15.4	16.7	16.7	0	0	33.3	0	5.4	0	3.3	0	0	0	0
39	15.4	0	0	0	0	0	0	2.7	0	0	0	7.1	3.1	0
平均	23.9	15.4	9.6	11.8	8.4	12.3	7.9	6.3	4.8	3.7	3.1	2.1	2.9	1.5
n	13	6	6	10	10	3	4	37	31	30	17	14	64	23

表8 飲酒回数とグレード別問題所見率

グレード	男 子						女 子					
	毎日のむ	週以上のむ 4日	週以下のむ 3日	殆ど飲まない	のめめない	計	毎日のむ	週以上のむ 4日	週以下のむ 3日	殆ど飲まない	のめめない	計
A	8	3	4	0	0	3	6	6	1	0	0	0
B	2	5	3	1	0	1	5	10	4	0	0	0
C	9	13	12	6	2	7	14	0	3	2	0	3
D	12	11	10	12	7	16	8	0	11	6	3	7
E	7	6	9	19	29	11	5	22	19	30	35	28
計	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
グ平 レ ード均	A	A	A	B	C	B	A	B	B	C	C	C

- 註1) グレードA 問題所見率： 各群すべて50%以上である
 " B " : 各群の中50%以上が1つ以上ある
 " C " : 各群の中25%以上50%未満が1つ以上ある
 " D " : 各群の中10%以上25%未満が1つ以上ある
 " E " : 各群すべて10%未満である

(2) 日立因島工場の対象は除く

(3) 飲酒中止者は除く

(4) 計の38は質問数に一致する

が、およそ5%であって殆ど飲まないものの場合の約半分と低率になる。又女子では例数は相当あり、問題所見率の平均%は2%程度で、殆ど飲まない場合に比べると更に半減している。このように飲酒回数の多少と問題所見率の平均(計)%の大小の間には関連性があるものとみなしうる事が判った。

表4～7について38の質問に関して問題所見率%を検討するに当り、表8のように問題所見率%をA, B, C, D, Eの5つのグレードに分類した。即ちグレードAは問題所見率の特に高いもの、Bは問題所見率の高いものであり、CDの順に低率となり、Eは問題所見率が特に低いものを示している。飲酒回数別、男女別に各グレードの数を表8に示してある。云いかえると38の質問の中で夫々のグレードにあてはまる回答1(問題ありと考えられる回答)の数をそのまま示したものである。但し飲酒中止者は例数が少く、因島工場の胃集検受検者は他の集団とはその性質上異なるのではないかと云う点と、例数の少い場合があるので此の表を作るに当っては除外した。

男子についてみると、グレードAは毎日飲むものに最も多く、殆ど飲まない、飲めない、飲まないものでは0である。グレードBは週に4日以上飲むものに多い。グレードBとグレードCを通して、週3日以下必ず飲むものと殆ど飲まないものとを境いにして左は多く右は少い傾向がみられる。然しグレードDでは飲酒回数間の差はないようである。グレードEになると、グレードABCとは対照的に殆ど飲まないものから右になると数が増えてくるのが判る。又週4日以上飲むものと3日以下飲むものとの間には、全グレードを通じて類似性がみられる。女子についてみると、毎日飲む、週に4日以上飲む、週に3日以下飲むものの群

は皆、例数が少くなるので、飲酒回数とグレードとの関係は判らない。殆ど飲まない、飲まない、飲めないものではグレードA及びBは0であり、両群ともグレードEが集中して多いことが特徴である。

図2 問題所見率の高い質問と飲酒回数との関係 (男子)

()内は答え		回数		毎日のむ	週4以上の日	週3以下の日	殆どのまない	のまない	のめない	計
		回数	回数							
問2	私は酒を飲むよりごちそうを食べるほうがよい…………… (いいえ)	●	○	○						×
問3	私が酔っぱらうのは、それなりのわけがある……………									
問4	酒がのどを通る感じはすばらしい…………… (はい)	●	●	●	×					●
問5	酒を飲むと家に帰らない事がある……………									
問6	私が飲むのは、つきあいの時だけである…………… (いいえ)	●	●	●	×					●
問7	いつも決まった時刻に飲む (晩酌をするなど) …………… (はい)	●	○	×						×
問8	酒を飲むと気楽につきあえる…………… (はい)	●	●	●	○		×			●
問9	私はいつも自分のペースで飲む……………			×	×		×			
問10	食事をするなら、酒の飲める店です…………… (はい)	○	○	×						×
問11	元気を出すには飲むのが一番だ…………… (はい)	●	×	×						×
問12	飲むようになってから、かなり性格が変わった……………									
問13	酒のうでで事故や争いを起した事がある……………			×						
問14	飲むとよく眠れない……………									
問15	毎週必ず1升 (日本酒: ウィスキーなら1瓶) はのむ……………	×								
問16	以前にくらべると最近酒量が大分上った……………	×	×	×						
問17	親友に大酒飲みがいる…………… (はい)	○	×	○	×		×	×		×
問18	飲むのは人生を楽しむためだ…………… (はい)	●	○	●	×					○
問19	近くの酒屋でよく一杯やる……………									
問20	金が入れば必ず飲み歩く……………									
問21	飲む機会があれば必ず飲む…………… (はい)	●	○	○	×					×
問22	うさばらしに飲む……………				×					
問23	少し飲むとやすうけあいをしてしまう……………									
問24	しらふだと落ちつかない……………									
問25	飲んだ時のことを思い出せないことがある……………	×	×	×						
問26	週に一、二度は大いにメートルをあげる……………									
問27	時をかまわず飲むことがある……………				×					
問28	朝から酒がいる……………									
問29	いつも一、二杯飲んでから仕事にかかる……………									
問30	仲間と飲むより一人で飲むほうがよい……………	×				×				
問31	休みの前日には酒びたりになる……………									
問32	酒を飲まない連中とはつきあいにくい……………	×	×	×						
問33	人は私を大酒飲みだと思っている……………	×	×							
問34	酒をのむより他に楽しみがある……………									
問35	年に二、三度はバカ騒ぎをして二、三日飲み続ける……………			×						
問36	酒を飲めばだれでも酔いつぶれることがある……………	×	×	×						×
問37	酒を飲んでバカ騒ぎをすると素晴らしい気分になる……………	×	×	×						
問38	前の日の酒のみ過ぎで翌日仕事を休んだり遅刻したことがある……………	×	×	×						
問39	飲んではならないとき (自動車の運転, 当直など) 酒をすすめら… れてもことわる事ができる									

- グレードA (表8) と同じ (問題所見率が各群すべて50%以上)
- グレードB (表8) と同じ (問題所見率が各群の中50%以上が1つ以上)
- ×

表4～7に示した38の質問毎に各集団別に求められた問題所見率のうち、特に高率なグレードA、高率なグレードBを選び、飲酒回数との関係を示したのが図2である。但し女子の場合は飲酒回数の多いものは例数が少いので本報告では男子に限ることとした。図2で質問の右の()内の回答は(はい)と(いいえ)の2種類になっているのは、図1で判るように、同じく答え1に○をつけた場合でも質問によっては肯定と否定の回答を求めるように質問の内容を変えているためである。然し答え1に○をつけた場合はいずれも問題所見と考えられる。図2では因島工場の胃集検受検者は表8の所で示したと同じ理由で除くこととした。

図2のように対象者の合計についてみると問4、6、8、18が問題所見率が高い。これらの中で問4、6、18は「積極的に飲酒を好む」意味づけがされるのに対して、問8はむしろ社交的なムードづくりの手段としての意味が大きいようである。

更に飲酒回数で分けてみると、飲まない、飲めない群に全くないのは当然のことであろうが、殆ど飲まないものに問8が唯1つだけ高率である。このことは問8が社交的な手段のための飲酒の意味合いが強いことからみて理解できることである。週3日以内必ず飲むものでは更に問2、問17、問21が加わる。問2と問21とは共に酒好きの人間像を想起させるものがある。週4日以上飲むものでは、問18(親友に大酒のみがいる)が減る代りに問7(晩酌)、問10(食事をするなら酒の飲める店です)が加わってくる。毎日飲むものでは更に問11(元気を出すには飲むのが一番だ)が加わり、問17も復活してくる。このように飲酒回数の増加と問題飲酒行動(徴候)との間には何か具体的な関連性があるように思われる。

飲酒回数の非常に多いものに高率に認められた飲みかたを後述の飲酒習性(トレート)からみると、情緒問題に関連した飲酒と、抑制の無い飲酒とが少いことが判る。参考のためにグレードCも図示した。

ロ) 飲酒トレート(習性)

使用したアルカドテスト質問紙(図1)の38の質問をトレート1から5までの5種類の習性に分類した。各々の質問のトレート番号はアルカドテストの原文⁽⁴⁾に記載されているトレート番号をそのまま使用した。なおアルカドテストのものと質問を大巾に数をへらすと共に表現を日本的なものに合うように和訳したが、図1の問5、13、38、39の4つの質問が原文にはなかったのを之を追加した。1つの質問でトレートが2つのものも可成りあるため、最終的には原文の60質問、83トレートを修正版では38質問、52トレートに変更したことになる。又修正版は原文に比べてトレート3が少し多く、トレート4が少し少いものとなった。本報告で用いたアルカドテストの各質問の各トレート番号は図1に示した。

各トレートの意義は表9の註に示した通りである。翻訳上の誤まりを避けるために原文⁽⁴⁾を次に掲げておく。The 5 alcoholic addiction traits are : 1. Regularity of drinking. 2. Preference for drinking over other activities. 3. Lack of controlled drinking. 4. Rationalization of drinking. 5. Excessive emotionality. 此の中で1は時間的要素を重きにおいた飲酒習性であり、極めて適訳が難しいのであるが、質問の具体的内容から考えると規則的(むしろ常習的、習慣的意味が強い)飲酒と解される。又2は何よりも飲酒を好むことであるので、飲酒嗜好或いは飲酒嗜癖と解される。

飲酒トレートを年台別に分けた結果は表として示さないが、例数の少ない場合は別として、大体にして年台間の差は余りなかったという傾向がみられた。

飲酒トレート%の求め方は次の通りである。分母と同じ質問に対する答1の数/(任意の

トレートに属する質問数)×nの百分率である。任意のトレートに属する質問数は夫々トレート1は10, 2は8, 3は16, 4は9, 5は9, 計は52である。

飲酒トレートを飲酒回数別に分けた結果は表9(男子)及び表10(女子)の通りである。男子の場合, 合計(平均)%をみると, 25%~16%の巾はあるがおおよそ20%前後の値が多い。合計%を飲酒回数別に検討してみると例数の少ない所は除いて, 飲酒回数1(飲まな

表9 飲酒回数別トレート%(男子) (トレート群/人)
京都 四條驛 安土 住民 計 四條驛 安土 住民 計

	ト レ ー ト	回 数						計	回 数						計
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
	1	2.2	5.4	13.8	13.8	20.3	27.7	18.0	0.3	5.2	3.3	14.8	18.4	26.8	15.6
	2	6.8	10.9	27.9	21.5	24.8	36.9	25.4	4.8	10.4	22.9	21.7	21.9	35.1	22.1
	3	4.4	6.9	16.3	13.5	16.0	20.8	14.9	2.2	6.6	8.3	13.7	14.2	21.0	13.4
	4	8.4	17.7	36.8	29.4	34.6	42.1	31.7	7.2	17.2	29.6	30.4	30.9	40.2	28.4
	5	9.3	13.7	28.2	15.3	18.5	23.0	18.6	7.9	12.7	20.4	14.3	14.6	21.3	16.1
	計	5.9	10.3	23.2	17.9	21.8	28.7	20.6	4.1	9.8	15.4	18.1	19.1	27.6	18.2
n		37	169	13	79	68	303	670	31	126	6	56	45	159	424

	ト レ ー ト	京都市 住民						計	四條驛市 住民						計
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
	1	11.7	6.0	22.0	11.3	23.9	28.7	22.1	0	5.3	6.7	15.5	19.1	26.5	16.6
	2	16.7	12.2	16.1	21.2	30.4	38.9	31.1	5.0	9.0	33.3	23.8	11.7	34.9	23.1
	3	15.6	7.8	23.2	13.0	19.6	20.5	17.5	2.0	3.5	8.3	13.1	15.4	20.6	13.8
	4	14.8	19.1	42.9	27.1	42.0	44.2	37.3	6.7	15.1	33.3	26.4	30.9	40.0	28.3
	5	16.7	16.8	34.9	17.9	26.1	24.8	23.0	7.6	11.5	25.9	11.9	14.2	21.3	15.2
	計	15.1	11.7	29.9	17.2	27.1	29.8	24.8	3.8	8.8	19.2	17.3	19.8	27.4	18.7
n		6	43	7	23	23	144	246	25	64	3	40	32	116	280

	ト レ ー ト	安土町 住民						計	京都自衛隊						計
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
	1	1.7	5.0	0	13.1	16.9	27.7	13.6	0.6	5.3	4.0	19.8	23.6	23.8	14.0
	2	4.2	11.9	12.5	16.4	18.3	35.5	19.8	2.2	13.2	12.5	33.7	32.1	33.6	23.1
	3	3.1	7.4	8.3	15.2	11.1	22.1	12.8	1.8	8.2	6.9	19.6	22.4	18.3	13.9
	4	9.3	19.4	25.9	40.3	30.8	40.6	28.8	7.2	19.8	21.1	42.1	36.5	40.4	29.7
	5	9.3	14.0	14.8	20.1	15.4	21.4	16.9	5.2	17.0	16.7	24.6	21.9	21.6	19.3
	計	5.1	10.8	11.5	20.2	17.5	28.3	17.5	3.2	12.0	11.3	26.5	26.5	26.1	19.0
n		6	62	3	16	13	43	144	17	107	10	52	39	58	283

	ト レ ー ト	京都 教員 公務員 計						計	教員						計
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
	1	0.7	5.0	8.3	15.4	19.0	28.1	15.5	0	2.1	0	17.5	13.8	21.1	13.2
	2	3.8	10.6	8.3	24.0	33.0	38.9	23.5	0	7.2	0	18.8	14.8	33.3	22.5
	3	2.5	7.8	4.2	14.4	15.0	23.6	14.3	6.3	7.2	0	10.9	10.2	21.1	14.0
	4	3.0	20.2	1.7	38.0	37.6	44.7	31.4	0	18.1	0	36.1	27.8	43.6	31.5
	5	7.0	15.3	0.9	20.4	19.8	23.3	18.4	11.1	12.9	0	19.4	11.1	25.1	18.3
	計	3.2	11.1	8.7	21.2	22.8	30.4	19.6	1.9	9.1	0	19.2	17.1	27.6	18.9
n		30	111	6	50	42	120	359	2	19	0	4	8	27	60

		公務員						日立因島							
		回数						計	回数						計
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
トレート	1	0.7	5.7	8.3	15.2	20.3	30.1	16.1	0	4.2	3.0	20.0	17.3	28.1	11.9
	2	4.0	11.5	8.3	24.5	33.8	40.5	23.9	1.8	13.2	10.0	25.0	10.2	36.7	18.0
	3	2.5	8.1	4.2	14.7	16.2	24.3	14.5	1.8	6.3	6.3	19.4	14.8	21.9	11.4
	4	3.2	21.1	16.7	38.2	39.9	45.0	31.6	2.4	15.2	14.4	42.2	42.4	44.4	25.8
	5	7.1	16.2	9.3	20.5	21.9	22.8	18.6	4.0	16.4	14.0	25.6	21.2	28.5	17.4
計		3.3	11.0	8.7	21.4	24.1	31.2	19.9	1.9	10.2	7.9	25.4	22.0	30.4	16.0
n		28	92	6	46	34	93	299	14	19	10	10	11	16	80

表10 飲酒回数別トレート% (女子) (/トレート群/人)
四條畷 安土 住民 計 四條畷 住民

		四條畷						住民							
		回数						計	回数						計
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
トレート	1	0.2	2.5	0	0	20.0	26.3	2.8	0.3	4.4	0	0	20.0	24.0	4.2
	2	1.6	3.9	6.3	0	12.5	26.6	4.1	1.6	6.4	0	0	12.5	37.5	6.5
	3	2.1	4.5	3.1	6.3	18.8	24.2	4.6	1.4	5.7	0	0	18.8	27.5	5.5
	4	5.0	9.5	27.8	0	22.2	43.1	9.6	3.9	14.8	0	0	22.2	42.2	12.3
	5	3.6	6.9	16.7	5.6	11.1	27.8	6.8	4.7	11.6	0	0	11.1	24.4	9.6
計		2.4	5.3	9.6	2.9	17.3	28.8	5.4	2.2	8.2	0	0	17.3	30.4	7.3
n		64	102	2	2	1	8	179	31	45	0	1	1	5	83

		安土 住民						京都 教員 公務員 計							
		回数						計	回数						計
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
トレート	1	0	1.1	0	0	0	30.0	1.6	0	0.9	0	7.1	5.0	12.5	1.8
	2	1.5	2.0	6.3	0	0	8.3	2.1	1.6	3.3	6.3	10.7	6.3	9.4	3.9
	3	2.8	3.6	3.1	12.5	0	18.8	3.9	0.8	3.5	7.8	11.6	12.5	4.7	3.9
	4	6.1	5.3	27.8	0	0	44.4	7.2	1.9	9.4	13.9	28.6	38.9	22.2	10.4
	5	2.7	3.1	16.7	11.1	0	33.3	4.3	2.9	5.7	11.1	12.7	16.7	8.3	6.1
計		2.6	3.1	9.6	5.8	0	26.3	3.8	1.3	4.4	7.7	13.7	16.3	10.6	5.0
n		33	57	2	1	0	3	96	23	53	4	7	2	4	93

		教員						公務員							
		回数						計	回数						計
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
トレート	1	0	1.1	0	6.0	10.0	12.5	1.9	0	0.7	0	10.0	10.0	0	1.7
	2	1.5	2.6	6.3	7.5	0	9.4	3.3	2.1	5.0	0	18.8	12.5	0	5.7
	3	0.7	3.1	7.8	11.3	6.3	4.7	3.5	1.0	4.6	0	12.5	18.8	0	4.9
	4	2.6	9.9	13.9	22.2	33.3	22.2	10.3	0	8.1	0	44.4	44.4	0	10.6
	5	3.9	5.8	11.1	11.1	0	8.3	6.1	0	5.2	0	16.7	33.3	0	6.0
計		1.6	4.3	7.7	11.5	9.6	10.6	4.8	0.6	4.6	0	19.2	23.1	0	5.6
n		17	38	45	5	1	4	69	6	15	0	2	1	0	24

- (註) 回数
1. のまない、のめない
 2. 殆どのまない (月に数回から年に数回)
 3. 以前のんだが現在はのまない (少くとも半年以前から)
 4. 毎週3日以下必ずのむ
 5. 毎週4日以上必ずのむ
 6. 毎日のむ
- トレート
1. 規則的 (習慣的) 飲酒
 2. 飲酒嗜癖
 3. 抑制のない飲酒
 4. 合理化した飲酒
 5. 情緒過剰に関係した飲酒

い、飲めない)ではトレート%は全部に共通して最も値が小さい。しかも殆ど飲まない(月に数回から年に数回)群との間に大きな差が認められる。飲酒回数3である酒を中止した群は例数が少ないので傾向は判らない。飲酒回数が毎日3日以下の群は殆ど飲まない群に比べると格段と高率になっている。更に飲酒回数がふえると率が高くなり、毎日飲む群では最も高率となる。このように「飲まない、飲めない」群と「多少でも飲む」群との間には大きな差があり、しかも飲酒回数がふえればふえる程、飲酒するものの中で率が高くなるという傾向が明らかにみられた。

次にトレートの間の比較を行うとトレート4が共通して最も高率であり、トレート2が次いで多い。残りのトレートは殆んど差がない。即ち男子の場合、合理化した飲酒と、次いで飲酒嗜癖の関連した飲酒習性が多いことが判る。

女子の場合、合計(平均)%はおおよそ5%前後で4~8%の間にある。此の値は男子に比べて1/4と低率であり、女子は男子よりも飲酒に関連した問題がはるかに少いと云える。飲酒回数別にみると「飲まない、飲めない」群よりは「殆ど飲まない」群は高率となっており、これらの傾向は男子の場合と同じである。即ち飲酒に極めて縁のない集団と少しでも縁のある集団との間には男女を通して同じような差があることが特徴づけられた。女子の場合飲酒回数3、4、5、6についてはいずれも例数が少ないので傾向は判らない。

トレート間の差をみると、トレート4が共通して最も多く次にトレート5が多いこと、最も少いのはトレート1であることが特徴である。即ち女子の場合、最も高率なのが合理化した飲酒であり、次に情緒的な問題に関連した飲酒習性が多いことが判り、又習慣的飲酒に関連した飲酒習性は少ないことが判る。更に男女共に合理化された飲酒習性が首位をしめることも特徴づけられた。

IV 考 察

A. F. Williamsはその論文の中で問題飲酒に関連の大きい条件についていくつかのものを示している。ただ彼の調査の対象となった学生の中の問題飲酒者が果して将来アルコールックであるか否か、これらの学生がプレアルコールックなのかどうかについては将来同じスケールによる追跡調査を行って確かめる必要があるとのべている⁽³⁾。確かに問題飲酒の調査については此の点も追跡する必要があるがもし追跡が可能ならば極めて大きい。と同時に問題飲酒に関する質問紙で高い点を示したものは問題飲酒者なのかということも証明される必要がある。又 Williams は問題飲酒者は問題のない飲酒者に比べて過剰にのむ回数が有意に多いこと、他の者がしない状況でものみすぎる、飲む前に思っていたよりも飲みすぎる点などを指摘しているが、これらの点や他の研究者の報告をふまえて、ソシオトメリックな調査票、飲酒に対する両親の態度の不一致、6つのアルコールスケール(個人的効用と社会的効用に分けられる)による調査票などを用いてニューヨーク州立大学のコレッジの学生について得たデータの有効性を求めた。その結果、質問紙で行った調査は問題飲酒の発見に有効であることを指摘している。更に問題飲酒者はそうでない飲酒者よりもアルコールを個人的効果のためと定義することが多いとのべている⁽³⁾。

本報告においても飲酒回数増加と問題所見率の増加との間に関係が認められたし、又図2の項で説明したように飲酒回数が多い群では社交的な効用よりも個人的効用を目的として

表11 問題知見率%の概算値

	男		女			男				女	
	Alcoholic	Social drinker	Alcoholic	Social drinker		毎日のむ	週以上の回む	殆のまなどい	ののめないい	殆のまなどい	ののめないい
Manson (1949)	61	9	64	9							
	83人	61人	40人	58人	本調査	30	25	10	5	5	2.5

飲むものが多くなるということも考察してある。その他著者らの発表した報告では晩酌量その他の飲酒量の増加と飲酒回数の増加とも関連があり、又飲酒量の増加と問題所見率の増加とも関連があることはしばしば指摘して来た^{(5),(6)}ことである。

Manson のアルカドテストの原著⁽⁴⁾では本報告で求めた方法による問題所見率%は示されず他の指標でもって表示されている。然しその中の1部からは本報告の問題所見率%の中の平均(計)%に当るものを求めることが出来る。勿論前にのべたように質問自体が修正されているために直接の比較はできない。又Mansonのデータに示されるsocial drinkerの定義が本報告で示した飲酒回数のスケールのどの辺までを含むものかもよく判らない。だが参考のために対応できそうな部分の数値を表11としてあげておく。Mansonの原著は1949年でありかなり古いものであるが、その中の引用⁽⁷⁾では北米合衆国におけるアルコール飲料摂取者中の問題飲酒者の割合は1945年頃は5~6%と云われていた。然し1967年の米国国立精神衛生研究所の報告⁽⁸⁾によると飲酒者中の問題飲酒者の割合は10%と推測されている。両方の数字は直接比較できるものではないが、それにしても米国でも年々問題飲酒者が増えて来ていることは否定できない。又問題飲酒者がふえてくると共に、単なる量的な変化のみならず、問題飲酒習性のような質的な面にも変化があることは予想されることである。その場合質的な変化は減少よりも増加するものと考えた方がまちがいがなさそうである。表11のMansonの数値は現在若し同じスケールで調査がされたとしたら或いはもっと増えているかも知れない。

表11から極めて直観的に印象づけられることは、慢性アルコール中毒では問題所見率%が著明に高率であることと、男性も女性も慢性アルコール中毒群及びsocial drinker群共に同じ程度の値を示しており、男女差がみられないことである。米国では飲酒、喫煙の面でも男女平等であることは日常見聞できることであるが、日本の本報告とは大きな差がある。

飲酒トレートについてMansonの報告ではsocial drinkerの場合、最も多いのはトレート4。次いでトレート5、2、3の順に減り、トレート1は特に少い。就中多いのはトレート4とトレート5とである。此の順位は男女共に同じであるし数値も両者に殆どちがいはない。これからみると米国ではsocial drinkerについては男女共、首位が合理化された飲酒、次に情緒に関連する飲酒習性が多いことが判り、本報告と比べると同じ点は「合理化された飲酒が首位」であることで、ちがう点は日本では男女差が大きいことである。

参考のためあげると米国の慢性アルコール中毒の場合はトレート3、4、5が夫々同じ程度に高率であり、しかもトレート3、4、5の率はsocial drinkerのトレート3、4、5の率の夫々9倍、5倍、6倍と多い。このことから慢性アルコール中毒になると問題発生率が激増してくることが判る。

アルカドテストの評価について今後更に研究が進められねばならないことは、慢性アルコ

ール中毒患者或いは断酒会員についての問題所見率を求めることである。問題所見率が標準化されることは初めにのべたように、慢性アルコール中毒の予防に結びつけられねばならないし、そのためには医学的に病気と診断された集団に関しても同じスケールによる疫学的な調査研究が必要なのである。

V 結 び

アルカドテストを日本的に修正した質問紙を用いて問題飲酒の早期徴候や問題飲酒に関する飲酒習性に関する疫学的調査を行なった。

本調査の対象は主として京都、大阪、滋賀及び因島市において、地域住民や職域の各種集団であり、全国調査の一環として計画されたものである。

本報告では特に飲酒回数と問題飲酒との関係に重点をおき、米国における調査報告その他の資料を多く参照しながら、精神衛生という新しい領域の中の1分野における集団的スクリーニングとしての本調査の評価及び、本調査の将来の問題点その他について、特に予防的見地に立って、基礎的な検討を加えたものである。

本調査研究は文部省科学研究費医学部門総合研究（A）：問題飲酒の疫学的研究（昭和47・48年度）によるものである。なお本調査の実施について関係機関、地域団体、職域及び地域の多くのかたの御世話と御協力をいただきましたことを深謝いたします。

文 献

- 1) William B. Terhune :Prevention of Alcoholism ;How to Drink and Stay Sober ;New York State Journal of Medicine, Vol. 64, No. 16, 1964
- 2) Alcohol and Alcoholism ; U. S. National Institute of Mental Health, 1967
- 3) Allan F. Williams :Validation of a College Problem-Drinking Scale ;Journal of Projective Techniques and Personality Assessment, Vol. 31, No. 1, 1967
- 4) Morse P. Manson :A Psychometric Determination of Alcoholic Addiction ;Amer. Journal of Psychiatry, Vol. 106 Sept, 1949
- 5) 佐々木武史：産業精神衛生と飲酒，問題飲酒を主題として，アルコール研究，4，3-4，1969
- 6) 佐々木武史，松田昭，森忠繁，明石信爾，額田 繁：重工業の従業員の飲酒と健康についての調査研究（第1報），アルコール研究，7，1972
- 7) Haggard, H. W., and E. M. Jellinek : Alcohol Explored ; Graden City : Doubleday, Doran and Co., 1945